

平成 29 年度 N I E 実践報告会出席の報告

期 日 平成 30 年 2 月 17 日 (土) 午後 2 時から
会 場 静岡放送会館 4 階 大会議室
出席者 実践発表校 (4 校)、各新聞社担当 7 社他
合計約 40 人

本会会長・事務局長に対して、関係団体である「静岡県 N I E 推進協議会」からの案内を受け、本会代表として実践報告会に参加しました。

新聞の N I E 事業の中で、実践報告会への出席は 2 年 2 回目であるが、小学校・中学校から活字を読み、理解し、他に知らせることができるようになる報告は頼もしく聞くことができました。

発表会の内容は以下のとおりであった。

1 静岡県 N I E 推進協議会 会長 安倍 徹 氏

- ・新聞は、速報ではインターネット等にはかなわないがその内容を活字として紙面をもって読むことは、余韻をもって楽しむものであり深く読み取ることができる。本日は、4 校の実践発表がある。楽しみにしている。



2 実践報告

司会進行を浜松市立与進北小学校教諭が行い、1 校 20 分程度の報告があった。

(1) 東海大学付属静岡翔洋小学校

○実践タイトル「本校の 4 年間の N I E 教育のあゆみ」

40 年前から小学生新聞を購読して指導している。現在、N I E の取り組みもあり、保護者の 90% 以上が新聞を購読しているので、今回の取り組みに対して協力的であった。取り組みとしては、学校の活動壁新聞・新聞の見出し当てクイズ・新聞を活用した研究授業・N I E 公開授業・N I E 英語授業等を行っている。



(静岡翔洋小学校の発表)

(2) 森町立森小学校

○実践タイトル「森小学校実践 ～新聞に親しみ活用しよう～」

NIEへの取り組みは、低学年「慣れる」、中学年「親しむ」、高学年「活用する」を職員の共有事項として取り組んだ。良い面としては、環境面・時事・場所、教員の意識が高まった。また、国語の力がついた。反面、活動を活発にするためには、取り組む時間の確保が重要である。



(森小学校の発表)

(3) 裾野市立富岡中学校

○実践タイトル「学校現場+新聞 ～社会の出来事をもとと身近に～」

学校運営組織に「NIE委員会」を設置し、4人の教員体制で取り組んだ。生徒には学習委員会・文化委員会で活動し、NIEを学習の柱の1つに位置付けている。社会科・保健体育課・道徳の授業等で取り組み、成果として新聞をとおして「物事に対する考えを深めることができた。」と答えた生徒が当初49%から87%と向上している。



(富岡小学校の発表)

(4) 浜松市立可美中学校

○実践タイトル「NIEって何? ～まず新聞を話題にすることから～」

2年間のNIE実践校としての発表であり、基本的な「NIEって何?」から取り組んだ。公務分掌にNIE実行委員会を設置し、生徒には、7紙の新聞を毎日朝夕閲覧できるようにした。1年生の「総合的学習の時間」で新聞を活用し、自分を知り、高める活動を行った。

(可美中学校の発表)



3 評価 N I E実践アドバイザーより

○4校の実践発表は、その内容の多様化や各学校の生徒や教師を含む実態（独自性）を踏まえたものであり、学校全体として無理のない自然な活動が行われている。

学校が行うN I E活動は、自由度の高い内容で子どもが楽しく、そして指導する教師が楽しくなるような取り組みが重要となる。今回の発表は良かった。



(アドバイザーより意見・講評)

記載者 遠藤師正